社会福祉法人　ゴウディングコミュニティ

avancer『アヴァンセ』

令和２年度・第号９号

令和３年１月吉日　所長　海老澤政昭

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナ一色の世の中で事業所における仲間たちへの取り組みにも少なからず影響がありました。今年もまだまだ新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、仲間たちへの取り組みをよりゆたかに進めていきたいと思っています。

さて、多機能型事業所ごうでぃんぐ岩世ヶ原がスタートしてはじめての年度末を迎えます。仲間たちのほとんどがNPO法人ゴウディングコミュニティからの継続のため、個別支援計画も継続して実施していますが、昨年度あたりから大きな変化が見られる仲間たちが増えつつあります。この変化をしっかりと受け止め年度まとめを行なおうと考えています。３月には年間の個別支援計画における成果と課題、そして、新年度の計画説明を行う予定です。じっくりと取り組んできた成果を互いに感じあい、新たな取り組みを共に考えていく機会としたい、そう思っています。

例年、年度末に実施している「まとめの会」は今回も見送ります。コロナが落ち着いてから、見送った年度も含めてお伝えする機会を持ちたいと考えています。

昨年１１月ごろより、就労継続支援Ｂ型のカフェ活動が少しずつ活動し始めています。まだまだ、一般のお客様を招くことは難しいのですが、事業所内の仲間たち及び職員向けに昼食の提供を始めています。新年度に向けて着々と準備が進められていますので、楽しみにしていてください。まだまだＢ型の仲間たちの工賃は低く安定しないですが、5,000円を超える月も出てきました。意外に早く10,000円/月に到達できるかもしれません。多忙の際は保護者に協力をお願いすることもあるかもしれませんので、その時には、ぜひ、ご協力お願いします。

新たな１年の始まりです。法人役員、職員一同、仲間たちとのゆたかな発達を一生懸命育んでいきますので、どうぞ、本年もよろしくお願いします。

♪カフェがんじょっぱら♪も新型コロナウイルスに負けず少しずつ歩んでいます

４月からスタートした就労継続支援Ｂ型の仲間たちと支援員、総勢７名の集団はこの９ヶ月で沢山の新しい体験を通してカフェの開店に向けて努力を重ねてきました。当然皆が初めてなことだらけで、上手く出来ないこともありましたが、作り上げたお菓子等は職員の購買力でアンケートを添えて毎回完売しています。とてもありがたいことです。そして得た解答は今後の力となり、改善、開発に繋がります。野菜やシイタケなども保護者から注文を頂き販売いたしました。コロナ禍で開店が出来なくて・・・と、思われますが、そこは逆に開発や練習に時間を費やすことができて有難く感じています。世間で流行の「〇〇映えする」など、岩世ヶ原でしか食べられない、手に入らないと言った、特別感のある商品を目指したいと思っています。来年度は１名の新人さんも仲間に入ります。そして総勢８名で「カフェがんじょっぱら」を盛り上げていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【編集後記】

毎月、各事業所毎、様々なお便りが出来上がり、内容の詰まった事業が行われていることは大変すばらしいことだと感じます。もちろんコロナ禍で思うような活動ができないこともありますが、そこは支援員、指導員の腕の見せ所！！アイデアが満載した活動が仲間たちのワクワクを引き出してくれてますね。次月のアヴァンセの発行で少しはコロナ禍が治まっていることを願います。